

プラン評価シート②地域資源を活用した観光振興

地域の現状と課題

○観光の振興

青谷地域への入込客数が年間 55, 0 0 0 人（資料「鳥取市主要観光施設等の入込客延べ人数（2023年）」による）程度にとどまる中、新型コロナウイルス感染症の収束による観光需要の拡大に伴い、地域の観光資源の「鳴り砂」「紙すき」「不動山」「青谷上寺地遺跡」などに今後ますます注目が集まると期待されます。この機会を捉え、観光資源の有効活用に取り組み、ガイド養成など観光振興を図っていく必要があります。

令和6年3月には展示ガイダンス施設を含む青谷かみじち史跡公園が新たにオープンしました。「地下の弥生博物館」として全国・世界に誇れる遺跡を利活用し、本施設を地域に訪れる観光の拠点として位置づけ、施設を中心とした地域周遊に繋げていくため、地域住民と連携して観光受入れ体制を構築する必要があります。併せて、「青谷上寺地遺跡クラブ」をはじめとして市民・企業と連携し、協働して史跡公園運営に参画することで、地域全体で「自分たちの青谷かみじち史跡公園」という機運を醸成する必要があります。

優先的に取り組む事項	R6実績	決算額 (千円)	R7計画	予算額 (千円)	備考	担当課
青谷かみじち史跡公園への地域 住民の参画	・青谷かみじちフェスタ（11/3 来場者1,000人） ・青谷かみじちスタンプラリー（11月実施、参加者120人） ・まちのにぎわいづくりを進めるつどい（2/20開催、参加者21人）	606	・青谷かみじちフェスタ ・青谷かみじちスタンプラリー ・史跡公園周辺アダプトプログラム ・おもてなしプロジェクト ・賑わい創出を考える住民ワークショップ開催検討	646	賑わい創出事業補助金	地域振興課
地域資源を守り育てる活動の推進	・青谷鳴り砂クリーン作戦（6/9, 10/6 参加者250人） ・あおや鳴り砂ビーチフェスタ（10/6 参加者150人） ・SUP体験 ほか（参加者44人）	282	・鳴り砂保全活動 ・観光促進活動	278	地域活性化事業補助金	地域振興課
伝統文化の保護継承	「夏泊の海女」の復活を目指し海女の育成に取り組んだほか、夏泊名物「いがい飯」PRとしてイベント物販やSNS等で情報発信した。	664	・郷土芸能保存伝承活動（ようこそ音頭、日置はねそ など） ・夏泊海女の会の活動支援（輝く中山間事業）	1,340	地域活性化事業補助金 輝く中山間地域創出事業補助金	文化交流課 地域振興課
観光誘客の受入体制の整理	・青谷かみじち史跡公園案内表示設置 ・レンタサイクル事業の推進（R6利用者数 36人）	113	・レンタサイクル事業の推進 ・青谷町観光協会での体制づくり検討	0	海と灯台プロジェクトほか	地域振興課
観光PR（情報発信、新商品開発）	・青谷かみじちおもてなしプロジェクトで「あおやかみじろう」の焼き印を活用したメニューの開発と、弥生グルメホームページの開設 ・観光協会ホームページのリニューアル ・あおやガイドマップ製作（2,000部）	509	・西いなば観光パンフレット作成 ・青谷町観光協会の活動支援	320	西いなば観光キャンペーン事業補助金 地域活性化事業補助金 市観光コンベンション協会助成金	地域振興課